

資料2: 市民活動団体や事業者等の活動状況

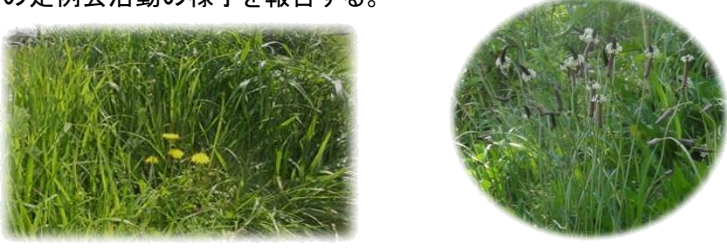

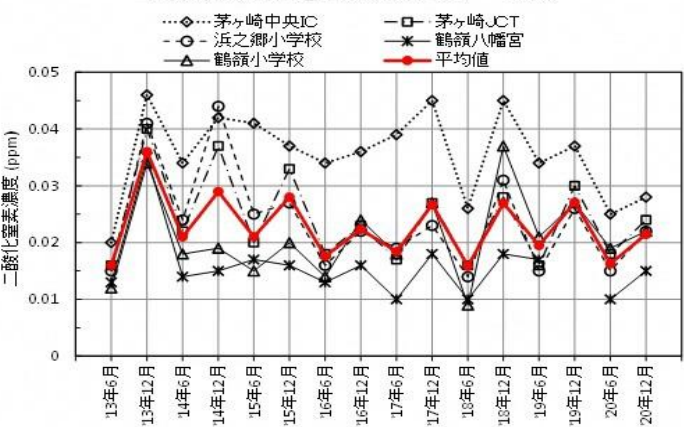
(重点施策34 意識啓発・人材育成(本編74ページ))

(重点施策35 現在活動している市民や市民団体、事業者による環境保全の取り組みの支援(本編76ページ))



団体名	小出川に親しむ会				
代表者名	丹沢 久子	発足年月	1987年12月	会員数 (令和3年4月1日現在)	50名
活動内容	小出川に親しみながら、気づき、考え、行動する中で「小出川の自然環境を保全していきたい」という願いを込めて活動しています。植物の観察会、野鳥の観察会、田んぼづくり、水質測定、大気汚染測定、川辺のコンサート、川そうじ、樹木の下草刈り、自然豊かな場所へのハイキングなど多彩な活動を行っている。				
主な活動内容 (令和2年度)	定例会				
	<p>定例会は毎月第4日曜日に実施することを原則とし、活動内容によっては日程を調整し、1月の総会で年間活動計画を作成している。実施内容の詳細は、例年、毎月原則第1火曜日に開催している定例会議(スタッフ会議)で確定している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにスタッフ会議は9月と11月の2回開催にとどまり、代わりにメール審議を基本とし、必要に応じて電話での相談で実施内容を確定した。屋外活動は「3密回避」に留意しつつ実施した。ただし、参加者の特定が困難な「お魚びっくりコンサート」と公共交通を利用して集団で移動する「ハイキング」は中止した。</p> <p>参加者数は次のとおり。</p> <p>① 定例会:10回実施し、参加延べ人数約150名 ② 田んぼの活動(古代米の栽培):年間を通して適時行い、参加延べ人数約150名 ③ スタッフ会議:2回開催し、参加者延べ人数約30名</p> <p>定例会活動の概要は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物調査(4/15) 浜園橋から西久保橋間の小出川土手・河川敷の植物の観察・調査を行った。 ・古代米の田植え(6/14) 古代米(黒米)の田植えを定例会行事として実施した ・水質・大気汚染測定(6/21、12/6) 浜園橋を重点に小出川の水を採取してCOD等を、また小出川周辺を中心に大気収集カプセルをセットしてNO₂を測定した。 ・古代米の稲刈り(9/27) 古代米(黒米)の稲刈りを定例会行事として実施した。 ・散策路の手入れ(10/25) 「木の葉の散策路」(新鶴嶺橋上流)及び「花の小径」(浜園橋上流)の下草刈りと樹木の剪定を行った。 ・小出川について語る(11/22) 「小出川の今とこれから」について語り合う活動の一環として小出川の中流域を散策し、調査した。 ・総会(1/24) 来年度の定例会テーマ・活動予定について「書面会議」で相談し、また代表他の役割分担を決定した。 ・野鳥観察(2/21) 浜園橋・西久保橋間を散策して野鳥観察を行った。 ・川そうじ(3/14) 浜園橋周辺・萩園橋周辺間の土手及び河川敷を中心にゴミ拾いを行った。 				
	会報の発行				
	<p>通信「小出川」を発行している。発行部数は500部。メールを活用して掲載記事の構成を検討し、原稿を作成・推敲している。今年度はNo.104、No.105を発行した。主な記事は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会及び田んぼの活動の報告 ・活動日誌と活動予定 ・環境学習支援 ・行政との話し合い・要望 ・自然環境関連の話題・エッセイ 				

主な活動内容 (令和2年度)	調査活動 ・植物(1回/年) ・鳥類(1回/年) ・大気(2回/年) ・水質(2回/年) ■調査結果の公表 ・通信「小出川」に掲載。
	イベント・講演会等への参加・出展 ・茅ヶ崎市「環境活動パネル展」への出展(10/19～24) ・アーバンデザインセンター・茅ヶ崎(UDCC)主催「小出川フットパス構想」第1回ワークショップに参加(1/30)
	学校等の環境学習の支援 ・「ちがさき学童保育の会」による小出川散策に協力して小出川を案内(4・5・6年生約30名)(3/29)
	他団体等の活動支援 ・茅ヶ崎自然連合の参加メンバーと、適時、情報交換・意見交換

小出川に親しむ会 2020年度活動状況

活動状況の写真	写真の説明
主に会の定例会活動の様子を報告する。 	2019年 4月15日 植物調査 小出川の浜園橋上流の土手で、イヌムギなどのイネ科植物の中で元気なカントウタンポポ(左)、今年目立った土星の環を思わせるヘラオオバコ(右)。
	6月14日 古代米の田植え 苗床で育てた苗をとって(左)、田んぼに植える(右)。今年は「コロナ禍」の中、会員だけの静かな田植え。
二酸化窒素の(NO ₂)測定結果('13年～'20年) 	6月21日、12月6日 大気汚染測定と水質測定 最近8年間の大気汚染の推移。2020年は低目の値を記録。

活動状況の写真	写真の説明
<p style="text-align: center;">図2 小出川流域水質の平均値推移</p> <p style="text-align: center;">(10測定点合計値の平均、'20.6.12のCODは「浜園橋」で代用、NO₂-Nは「浜園橋」を月毎補正)</p> <p>Legend: pH (diamonds), COD (squares), NO₂-N (triangles)</p> <p>Annotations: 当日夜半は降雨多、採水時は雨 (Rainy night and sampling time); 前日降雨多、採水時は晴 (Rainy previous day, clear sampling time)</p>	<p>最近7年間の小出川の水質検査結果の推移。2014年から2019年までは上流から下流まで10測定点の流域平均値、浜園橋の値が流域平均値に近いことから、2020年は浜園橋の値で流域平均を代表。</p>
	<p>9月27日 古代米の稲刈り 昔ながらの手刈りによる稲刈り(左)、刈った稲を掛け干し(右)。</p> <p>10月4日 脱穀 昔ながらの機械で脱穀。</p>
	<p>10月20日 小出川の散策路の手入れ 下草刈りを終えた「花の小径」、左は道路側、右は土手側。</p>
	<p>11月22日 「小出川について語る」 小出川中流域の状況を観察。萩園橋の上流側(左)、アシ、ヨシが消え、ナガエツルノゲイトウが繁茂。河川改修工事中の聖天橋・鷹匠橋間の様子(右)。</p>

活動状況の写真	写真の説明
	<p>2020年 2月21日 野鳥観察 浜園橋・萩園橋間での観察風景(上)、小出川の常連さんのカモの群れに混じって珍しくタシギが、1羽(下)。</p>
	<p>3月14日 小出川の川そ うじ 浜園橋付近の土手でのごみ拾いの風景(左)、川の中は胴付長靴をつけてごみ拾い(右)。</p>

団体名	柳谷の自然に学ぶ会			
代表者名	野田 晴美	発足年月	1992年10月	会員数 (令和3年4月1日現在) 24名
活動内容	県立茅ヶ崎里山公園とその周辺で植物、昆虫、鳥類などの自然観察会を行っています。また、水質、水生生物、カエル、植物、野鳥などの調査活動をしています。			
主な活動内容 (令和2年度)	定例会			
	定例自然観察会(8月を除く毎月第4日曜日)(11回/年、参加者延べ200名)神奈川県公園協会と共催			
	定例会議(8月を除く毎月第4日曜日)(11回/年、参加者延べ50名)			
	会報の発行			
	・会誌「緑のまち」発行(3回/年、編集会議6回)			
調査活動				
・植物(11回/年) ・鳥類(12回/年) ・両性・は虫類(約32回/年) ・水生生物(4回/年) ・水質(4回/年) ■調査結果の公表 ・会誌「緑のまち」に掲載(植物を除く)				
イベント・講演会等への参加・出展				
・茅ヶ崎市環境政策課「バーチャル里山はっけん隊！」ビデオ撮り協力 ・幼稚園先生自然観察会ご案内(雨で中止)				

団体名	清水谷を愛する会				
代表者名	佐々木 三智雄	発足年月	1991年9月	会員数 (令和3年4月1日現在)	34名
活動内容	みどりを優先した美しい景観を活かし、数多くの生きもののコア地域としての保全作業を行い、後世へ続けさせる活動。 清水谷特別緑地保全地区として、保全管理計画に基づき、茅ヶ崎市と協定を結んでいるため、随時担当課等と協議を行い、報告速報とカルテの基の原資として作業日報を毎週の保全作業後に行政に提出している。				
主な活動内容 (令和2年度)	定例会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・定例観察会(11回[うち1回はコロナ禍のため中止]/年)(延べ128名参加) ・保全作業(毎週火曜日)(46回/年)(延べ274名) ・特別緑地関連定例ミーティング(1回/年) ・総会(1回/年、2月) 				
	会報の発行				
	・「清水谷通信」の発行(7月、11月、2月)				
	調査活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ①毎週火曜日の保全作業の際に生きもの調査を実施。(46回/年) ②毎月の定例観察会にチョウなどの調査を実施(11回/年) ③水質調査(4回/年) ■調査結果の公表 ①は作業日報にて市へ報告、②は会報「清水谷通信」に記載、③は環境保全課、景観みどり課へ報告、会報「清水谷通信」に記載				
	学校等の環境学習の支援				
・鶴が台中学校1年生総合学習への協力(11/19 39名)					
その他					
<ul style="list-style-type: none"> ・研修 二宮町 吾妻山公園見学(11/10) ・「令和元年度の環境に関する活動及び自然環境の状況等報告書」を市環境政策課へ提出(4/23) ・茅ヶ崎市環境基本計画骨子に対するアンケートを環境政策課へ提出(8/20) ・茅ヶ崎市環境基本計画(2011年版)進捗状況報告書(令和2年度版)に対しての意見を環境政策課に提出(12/2) ・茅ヶ崎市環境基本計画(素案)に対するパブリックコメント提出(1/7) 					

団体名	行谷ツリフネソウ友の会				
代表者名	池田尚子・村中恵子	発足年月	2016年9月	会員数 (令和3年4月1日現在)	9名
主な活動内容 (令和2年度)	環境基本計画(2011年版)でコア地域として保全すべき重要な地域となっている行谷広町の細流のある場所は、「環境市民会議ちがさきエコワーク」の自然環境部会とプロジェクトである茅ヶ崎の自然環境を考える会が協力して保全活動を実施してきた経緯がある。エコワーク消滅後、保全活動を続ける必要があるということで有志が集まり、市民団体を設置し、行谷の細流及びその周辺の保全活動及び観察会等を実施している。				
	定例会				
	・定例会(保全作業など)(毎月第1日曜日)(10回/年、参加者延べ58名)				
	会報の発行				
	・毎回の報告書を作成し、会員へ送付している。				
調査活動					
<ul style="list-style-type: none"> ・植物(9回/年) ・鳥類(1回/年) 					

団体名	相模川の河畔林を育てる会			
代表者名	江口恒夫	発足年月	2011年12月	会員数 (令和3年4月1日現在)
				9名
主な活動内容 (令和2年度)	環境基本計画(2011年度版)でコア地域とされている相模川の左岸に広がっていた水害防備保安林が堤防護岸工事のために伐採されたため、その後を考え、茅ヶ崎市の代わりに、環境市民会議ちがさきエコワークの市民団体が連携し、講座を開催、保全のための団体を設立した。茅ヶ崎市が国から占用許可されている移植林及び水害防備保安林(国有地分)を生物多様性のある河畔林として次世代に引き継げるよう、100年の森を目指して、活動している。河畔林周辺の自然環境の保全や外来植物の除草、野鳥観察、虫の声を聞く会等の活動に地域の人や事業者にも参加していただいている。			
	定例会			
	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会(隔月第2日曜日)(9回/年、臨時3回、参加者延べ56名) <ul style="list-style-type: none"> 4月 オドリコソウ生息地の除草 6月 オドリコソウ生息地の除草 8月 トモエソウ周辺の除草 9月 鳴く虫を聞く会 10月 国交省京浜河川事務所との意見交換会 11月 オドリコソウ生息地の除草 (株オーテックジャパンの保全活動支援) 12月 野鳥観察会 2月 総会 			
	会報の発行			
	・なし。活動後の会員への報告書作成・送付あり			
	調査活動			
	<ul style="list-style-type: none"> ・植物(保全活動日に随時 4回/年) ・鳥類(1回/年) ・昆虫類(マツムシ、キリギリスの確認 1回/年) 			
	イベント・講演会等の実施			
	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会「鳴く虫の声を聴こう」(9/13) ・観察会「相模川の野鳥観察」(12/13) 			
	他団体等の活動支援			
・(株オーテックジャパンの地域貢献「相模川の河畔林を育てるプロジェクト」の支援(11/21)				
その他				
・国土交通省京浜河川事務所相模出張所と意見交換(10/28)				

団体名	駒寄川 水と緑と風の会					
代表者名	池田 尚子	発足年月	1991年5月	会員数 (令和3年4月1日現在)	20名	
活動内容	駒寄川周辺にはかつて茅ヶ崎に多くあった里山の景観、自然が残っている。それらを通して様々な職業や年代の人たちが月に一回集まって駒寄川周辺を散策し観察を行っている。植物や水質・水生生物・野鳥等の調査を行い、冊子を作成。駒寄川かるたも完成し、イベントなどで活用中。散策ガイド用のパンフレット「駒寄川散策」が完成し配布した。香川公民館南の雑木林で活動をしてきたが、宅地化されてしまった。現在「30年間の雑木林の活動」の内容をまとめている。					
主な活動内容	定例会					
	<ul style="list-style-type: none"> ・定例観察会(毎月第1日曜日)(11回/年 参加者延べ70名) ・定例会議(観察会の30分前に話し合い) 					
	会報の発行					
	・「風のたより」の発行(3回/年)					
	調査活動					
	<ul style="list-style-type: none"> ・植物(カントウタンポポ群生地3か所 1回/年) ・鳥類(12回/年) ・水生生物(1回/年) ・水質(5か所を2回/年) ・その他、身近な水環境一斉調査に参加(CODのみを2か所 1回/年) 					
	■調査結果の公表 会報に掲載、香川公民館まつりで展示発表					
	イベント・講演会等への参加・出展					
	(令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・香川公民館まつりが中止になったため ロビー展を開催。1/19～2/7まで。「駒寄川散策」の紹介、香川公民館雑木林の宅地化、会の活動、周辺の遺跡など展示。 				
	学校等の環境学習の支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・鶴が台中学校の野外学習の協力(1年生39名)11/19 20名は駒寄川の水生生物の観察 19名は建彦神社周辺の動植物の観察 						
その他						
<ul style="list-style-type: none"> ・緑の里親 駒寄川の河川改修のためにハンゲショウの生息地が失われたので、相模川左岸用水の散策路に移植。ハンゲショウを保全するために草取り作業を行っている。5/3、9/6 ・「駒寄川散策」の作成 8/16最終検討、9/27完成。公共施設などに配布。 ・茅ヶ崎市の保存樹林の香川公民館南の雑木林が宅地化されることになり、香川公民館利用者の皆さんとともに雑木林保存のため 景観みどり課担当の「緑基金」の活用を要望したが、叶わず、議会へ陳情するも理解されず、否決される。雑木林はすべて伐採された。 ・(仮)茅ヶ崎市歴史文化交流館予定地にある湿地性の植物の保全を要望している。特に樹木を植えることを茅ヶ崎市では決定しているので、オニグルミの移植の要望書を提出した。 						



緑の里親でハンゲショウ保全活動



鶴が台中学校1年生

団体名	三翠会				
代表者名	鈴木 國臣	発足年月	2000年4月	会員数 (令和3年4月1日現在)	18名
活動内容	水辺に暮らす生きものの環境を守る活動を行っています。県内で絶滅が心配される渡り鳥タゲリをはじめ多くの生きものを育み、環境や防災などにも役立つ市内の水田を守るため、農家と協力して湘南タゲリ米を販売するプロジェクトを行っています。生物調査、学校教育、地産地消などにも協力しています。				
ホームページ	http://www.tagerimai.com/				
主な活動内容 (令和2年度)	定例会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・総会・定例会(毎月第2土曜日)(10回/年、参加者延べ48名) ※新型コロナ禍で、総会と4、5月の例会を中止した。 ・トウキョウダルマガエル鳴声確認調査(2回/年、参加者4名) ・タゲリ米の里観察会(6、9月は、コロナ禍で中止) ・湘南タゲリ米出荷作業(11月、参加者10名) ・タゲリー斉調査(12月、参加者13名) ・湘南タゲリ米購入者探鳥会(1月、コロナ禍で中止) 				
	会報の発行				
	<ul style="list-style-type: none"> ・会報「タゲリ米通信第20号」の発行(1回/年) ・ホームページ&Facebookにて、会の活動やタゲリ米の里の四季折々の風景・野鳥・昆虫・植物などを都度発信紹介。 				
	調査活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥類(タゲリ1回/年) ・両性・は虫類(トウキョウダルマガエル2回/年) ■ 調査結果の公表 ・タゲリの調査結果は「文化資料館調査研究報告」(茅ヶ崎市文化資料館)にて公表(1回/2年) 				
	イベント・講演会等への参加・出展				
	<ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎ODM事業キックオフセミナー参加(9/1、参加者1名) 				
学校等の環境学習の支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・浜之郷小学校総合学習「たんぼ塾」への協力(田んぼの代掻きから稲の収穫迄 5月～11月) 					

団体名	NPO法人 ゆい				
代表者名	荒井 三七雄	発足年月	2004年1月	会員数 (令和3年4月1日現在)	16名
活動内容	数十年前、湘南砂地に普通にあった海浜植物が徐々に減りつつあります。絶滅危惧種の保護や復元方法を試みながら、次世代につなげる活動をしています。浜辺に来ていただき、砂草が棲んでいる環境を現場で知っていただき、また砂草講座を開いたり各地の浜辺の生物を保護する団体たちとも交流会を行っています。「湘南 里浜みどりのプロジェクト」				
ホームページ	https://www.npoyuhi.org/				
主な活動内容 (令和2年度)	定例会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・観察は会員だけで、不定期です。 ・現在、会議(理事会、会員全大会)は定例では行わず、必要に応じて随時 電話・メールのやり取り済ませています。総会についても(定款変更済み)同様です。 				
	会報の発行				
	・「湘南 里浜みどり通信」の発行(不定期)				
	調査活動				
	・海浜植物の分布(数回/年)				
	イベント・講演会等の実施				
	・COVID-19 蔓延により人を集める事業は自粛した。				
	イベント・講演会等への参加・出展				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「茅ヶ崎環境フェア」、「公民館まつり」中止 ・海浜植物保護の全国ネットワークで毎年行っている交流会「ふるさと海辺フォーラム」(昨年主催は石狩市)はCOVID-19 の蔓延のためZOOM を使って開催。(6/21) 				
学校等の環境学習の支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の二つの保育園において、園児による海浜植物ビロードテンツキ(県絶滅危惧種)育苗、出前講座、浜辺での植栽活動を行った。参加者 園児59名+先生と当団体会員数名。 					
他団体等の活動支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・市内コミセン屋上花壇にて“海浜植物見本園”づくりに着手。 					
その他					
<ul style="list-style-type: none"> ・県の施設にて、湘南海岸の植物の増殖活動を行った。 ・他市のみどりを普及する団体の活動は、COVID-19 蔓延によりほぼ中止。 					

9月15日
中海岸保育園
出前講座



9月25日
浜須賀保育園
出前講座



12月2日
中海岸保育園
植栽



11月18日
浜須賀保育園
植栽



団体名	NPO法人 湘南ふじさわシニアネット				
代表者名	山本 実	発足年月	2003年6月	会員数 (令和3年4月1日現在)	91名
活動内容	<p>湘南ふじさわシニアネットは、認定特定非営利活動法人として「(地域)社会に貢献」する公益を増進する組織です。具体的には下記の7つの事業目的に分けられます。</p> <p>(1) 経済活動の活性化を図る活動 (2) 情報化社会の発展を図る活動 (3) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 (4) まちづくりの推進を図る活動 (5) 環境の保全を図る活動 (6) 子どもの健全育成を図る活動 (7) 特定非営利活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動</p>				
ホームページ	https://www.sfs-net.com/				
主な活動内容 (令和2年度)	定例会				
	・定例会議(毎月第2水曜日)(新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部オンライン会議)				
	イベント・講演会等への参加・出展				
	<p>・「ちがさき環境フェア」、「ふじさわ環境フェア」への出展を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、いずれも中止となり実現できず。</p> <p>・セミナー「気候の危機は止められるか」(講師江守正多氏)に参加</p>				
	その他				
	・ちがさきエコネット運用支援業務受託遂行(メンテナンス 毎週、市環境政策課との会議・夏冬のエコアイデア・おしらせ・ゴーヤ苗の配布・フォトライブラリー更新、SDGsキッズクイズ作成等 随時)				

団体名	NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク				
代表者名	上野ひろみ	発足年月	1999年3月 2012年10月NPO認証	会員数 (令和3年4月1日現在)	正会員10名 賛助会員6名
活動内容	<p>茅ヶ崎市を中心に市民・事業者に対して、自然エネルギー・省エネルギーの普及啓発・推進、環境教育に関する事業を行い、自らが地域エネルギー問題を考え、その解決のために行動することを促すとともに、持続可能な社会をめざすことを目的として活動する。</p>				
ホームページ	http://www.i-shimin.net/ren/				
主な活動内容 (令和2年度)	定例会				
	<p>・定例会(毎月第3日曜日)8月を除く 会場: 茅ヶ崎地区コミュニティセンター・ちがさき市民活動サポートセンター 2020年度は、コロナの影響で総会はみなし総会。定例会は9回の開催。ネットを活用し、打合せを行った。参加者延べ72名。</p>				
	会報の発行				
	<p>・セブン-イレブン記念財団の環境助成金を活用し、増補改訂版 市民が作ったガイドブック「おひさま発電のすすめ」・市民立太陽光発電の紹介パンフレットを作製した。</p>				
	イベント・講演会等の実施				
	・2020年度は、コロナ渦で開催できなかった。				
	イベント・講演会等への参加・出展				
	<p>・茅ヶ崎市「環境活動パネル展」への出展(10/19~24) ・ちがさき市民活動サポートセンター「こどたん202」クイズ出題(3/13、14)</p>				
学校等の環境学習の支援					
・神奈川大学学生の卒業論文作成のための質問に対応(8/19)					
	その他				
	・茅ヶ崎市委託事業「太陽光発電クレジット事業」				

団体名	茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会				
代表者名	会長 宍戸 大樹 (東海カーボン(株) 湘南工場)	発足年月	1968年	会員数 (令和3年4月1日現在)	46名
活動内容	相模川水域保全のための調査研究及び清掃活動等				
主な活動内容 (令和2年度)	定例会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・通常総会(書面会議)(1回/年、参加者 全会員) ・理事会(書面会議)(4回/年、参加者 全理事会員) ・臨時理事会(書面会議)(1回/年、参加者 全理事会員) ・臨時総会(書面会議)(1回/年、参加者 全会員) 				
	その他				
	・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により事業等は実施しておりません。また、令和3年3月25日に実施した臨時総会にて、令和3年度の本協議会の休会が議決されたため、令和3年度は活動がありません。				

団体名	茅ヶ崎地区工場緑化推進協議会				
代表者名	—	発足年月	1980年6月	会員数 (令和3年4月1日現在)	会員19 特別会員1
活動内容	茅ヶ崎市内の工場、事業所における良好な環境づくりと工場緑化を推進				
主な活動内容 (令和2年度)	定例会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会・・・新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から未開催 ・総会・・・新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から書面開催(6/18) 				
	会報の発行				
	・機関誌の発行・・・令和2年度は事業中止				
	イベント・講演会等の実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ・里山等保全事業・・・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止 ・視察見学会・・・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止 ・事業所見学会・研修会・・・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止 				
	イベント・講演会等への参加・出展				
	・茅ヶ崎市「ちがさき環境フェア」への出展・・・令和2年度はフェアの中止				
	その他				
	・活動PRのための種子の配布・・・令和2年度は事業中止				

団体名	イオンリテール(株) イオン茅ヶ崎中央店				
主な活動内容 (令和2年度)	イベント・講演会等への参加・出展				
	・茅ヶ崎市「環境活動パネル展」会場提供(10/24 イオン茅ヶ崎中央店1階 正面入口催事場)				
	学校等の環境学習の支援				
	・チアーズ活動として地元小学生と環境学習活動実施				
	他団体等の活動支援				
	・令和3年度の茅ヶ崎市「みどりのカーテンプロジェクト」に参加予定				

団体名	生活協同組合ユーコープ 湘南3エリア会
主な活動内容	イベント・講演会等への参加・出展
(令和2年度)	・「ちがさき環境フェア」中止のため、出展なし

団体名	電源開発(株) 技術開発部茅ヶ崎研究所
主な活動内容	その他
(令和2年度)	・「茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会」会員

団体名	東京ガス(株) 神奈川西支店
主な活動内容	イベント・講演会等の実施
	・実施なし(コロナ禍のため)
	イベント・講演会等への参加・出展
	・参加、出展なし(コロナ禍のため)
	学校等の環境学習の支援
	・支援の実績なし(コロナ禍のため)
	その他
(令和2年度)	・活動支援の実績なし(コロナ禍のため)

団体名	東京電力パワーグリッド株式会社平塚支社
ホームページ	https://www.tepco.co.jp/pg/
主な活動内容	他団体等の活動支援
	・かながわ海岸美化財団「ビーチクリーンボランティア」への参加 サザンビーチちがさき海水浴場での清掃活動(9/5) https://www.bikazaidan.or.jp/2657/
	その他
(令和2年度)	・ESG・SDGs 社内勉強会を開催し、SDGsへの理解浸透活動に努めています。 ・事業所から排出されるゴミの分別とワンウェイプラ削減を目指したペットボトル3分別活動の実施。 ・業務車両のガソリン車稼働を抑制・削減し、EV車両を優先的に活用推進することで『脱炭素化』を図っています。

団体名	トピー工業(株) 神奈川製造所
ホームページ	https://www.topy.co.jp (本社ホームページ)
主な活動内容	イベント・講演会等への参加・出展
(令和2年度)	・「ちがさき環境フェア」中止のため、出展なし

団体名	(株)LIXIL
ホームページ	https://www.lixil.co.jp/corporate/
主な活動内容 (令和2年度)	他団体等の活動支援
	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市資源リサイクル組合主催の環境絵日記⇒コロナ禍により中止 川崎市地球温暖化防止センター主催の「トイレが世界を救う！」の水の授業を実施。(3/27、12名)
	その他
	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリパラ公認プログラム ユニバーサル・ランスポーツ義足体験授業を相模原市にて実施 LIXIL主催の観光地おもてなしトイレ清掃事業を藤沢市江の島の公衆トイレにて実施